



第113号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 発行者/和田ハツ江
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
 honbu @ rosario.jp

施設から地域へ出て

海匝ネットワーク 英一馬

私は、平成9年4月に身体障害者療護施設聖マリア園に支援員として入職し、11年9カ月勤務しました。平成20年12月に中核地域生活支援センター海匝ネットワークに異動となり、障害担当のコーディネーターとして勤務しております。

海匝ネットワークで、一から勉強をさせていただいておりますが、異動して半年少し過ぎた現在の感想を書かせていただきたいと思えます。

異動して、まず驚いたのはケースの相談の種類の多さでした。中核地域生活支援センターは、制度横断的に様々な相談を受けている事業所なので、ある程度の相談の範囲の広さは予想していたつもりでしたが、それを上回る範囲でした。そして、その中でも特に驚かされたのは、制度に乗っていない方、制度に当てはまらない方の相談でした。

そのような方々のお宅を訪問し、実際にその暮らしぶりを見た時には本当に言葉が失いました。収入もない、食料もない、水道やガスもいつ止められてもおかしくない。解決方法が何も見つからない。衣食住がすべて整っている施設では、衣食住以外の支援が当たり前でした。地域に出て、まさか衣食住の確保をするための支援をするとは思ってもみませんでしたので、正直驚きました。

今まで施設で勤務してきて、私は本当に地域に目が向いていなかったのだと感じました。しかも、自分の住んでいる地域の中にこのように多くの問題を抱えたお宅があるなんて想像もしていませんでした。仕事を離れた一市民としても、知らなかった現実でした。

地域では解決できない問題をたくさん抱えた方々が多くいらっしゃいます。そして、多くの方々が協力しあい、そういう方々の支援を

しています。もちろん、その支援をする資源の中には施設も入っています。しかし、私は、心のどこかで施設は地域とは無関係だと錯覚していました。施設は、地域の中では数少ない資源であることは言うまでもありません。今、私の施設での仕事を振り返り、「施設の問題⇨地域の問題」と考える視点が必要だったと感じています。何か施設で問題が起きた時に、それは地域の問題だと考えることで対応が変わったりしたのではないかとと思います。施設で対応できない問題をどうするのか？どうにか地域で解決できないだろうか？と考えることができたのではないかと思えます。

施設で得たものは現在の私の財産になっています。施設で得たものを生かし、色々な方々と連携して、微力ですが、地域生活を支えるお手伝いをさせていきたいと考えています。

土居健郎先生のご逝去

理事長 和田ハツ江



1920年(大正9年)3月17日生
1956年(昭和31年)精神科顧問医として
海上寮療養所 精神科・神経科
開設に参加 以後指導に当たる
2009年(平成21年)7月5日逝去

平成21年7月5日、土居健郎先生がお亡くなりになりました。

先生は、海上寮療養所が精神科・神経科に変更のときからご指導くださり、50年の永きにわたり、患者さんはもとより職員の皆さんにも敬愛され、先生が毎月一度お見えになるのを私どもみなが楽しみにお待ちしております。

先生が「甘えの構造」の著者として多くの方たちの尊敬を受けられるようになってからも、海上寮が一番好きだよとおっしゃってくださったって、海上寮に対する姿勢はぜんぜん変わりませんでした。

次の文は土居先生が海上寮療養所事務所東側の樹の姿をご覧になって記されたものです。

暮れなづむ空に向かつて
あたかも両手を広げたように
葉のすつかり落ちた枝々が
くつきりと映る姿は
いつまで見ても飽きることはない

このように樹々は
朝陽がさして来るまで
じっと待つのだろう

私たちもそのように
祈りたいものだ

土居健郎

また、いつもの先生のお姿は、私どもにとって、次の歌のように感じられたものでした。

岩もあり
木の根もありて
さらさらと
さらさらと
ただ 水の流るる

先生、神のみもとで安らかに
お休みくださいますように。

連載 新型コロナウイルス第7回

知識のワケチン

海上寮療養所 医局長 佐多範洋



秋になり、また毎日のように新型コロナウイルスエンザのニュースを見るようになりました。中には亡くなる人もいて、心配になります。感染予防のためにいろいろなグッズが売られています。何を買っているのか分からないもの。そこで、どのような予防法が最も効果的か、まとめてみようと思います。

ですから、インフルエンザにからないうちに最も大切なことは、感染している人のつばきを吸わないことです。つまり、感染者に近づかないこと、また感染者は他の人となるべく接触しないことが重要です。

日本で初めての新型コロナウイルスエンザの流行は5月の大阪・神戸で起こりました。この集団感染の詳細な分析によれば、ほとんどは、感染者と向かい合っている程度の時間話していた人が感染していった。インフルエンザはたいがい、感染者が咳やくしゃみをしたり、しゃべったりするときに出る細かいつばきをたくさん吸うことにつながります。ノロウイルスのように手についたウイルスによって感染することは稀ですし、はしかのようにはウイルスが空気中をふわふわと漂い、すれ違っただけでうつるということはありません。

ただ、インフルエンザは熱などの症状が出る前から感染するので、実際は感染者の見分けは困難です。そこで、流行期にはマスクの着用がお勧めです。市販の使い捨ての不織布マスクは、インフルエンザウイルスを95%以上カットします。ダチヨウ抗体など特別なものは必要なく、安いものでよいのでたくさん買って、こまめにつけることが大切です。

なお、インフルエンザウイルスは30分もすればのどの細胞の中に入り込んでしまうので、「外出から帰ってきたらうがい」というのはあまり意味がありません。逆に、

外出先で急に目の前で知らない人に咳をされたとき、5分以内にうがいをするとうと感染予防効果はあるかもしれません。

手洗いや手のアルコール消毒は大事ですが、マスク着用に比べると効果は薄いです。なお、冬に温水で手を洗うと、手が荒れてかえってウイルスが付きやすくなるとも言われますので、なるべく冷たい水で手を洗う方がよいです。

消毒効果を考えるとアルコールが優れています。医療用の消毒液は1プッシュで手の平に乗らないくらいたくさんアルコールが出てきます。これを手で擦り込んで乾くのを待つと、30秒から1分間くらいかかりますが、この時間が消毒のためにとっても大切なのです。市販の消毒液は1プッシュの量が少ないものもあり、その場合は3〜5プッシュくらい使った方がよいかもしれません。

ウイルス殺傷効果100%をうたった高価な空気清浄機も売られています。インフルエンザウイルスは空気中を漂わないので、医学的に

は効果はまずないと思われれます。それよりは加湿器を買った方がよいでしょう。湿度が高いほど、つばのしぶきは早く地面に落ちるため、感染しにくくなるのです。毎年冬にインフルエンザが流行するのは、この湿度が関係していると言われています。ただし、加湿器が加湿できる範囲はそれほど広くないため、過信は禁物です。

私たちはどうしても、楽に解決できるものを求めてしまいます。

健康にはバランスの良い生活の方がずっとよいのに、サプリメントに安心を求めたりします。インフルエンザ対策も、たくさんの方の対策グッズを買うよりも、正しい知識を身につけて、地道に対策することの方が、ずっと大切です。ワクチンは効かないこともあり、クスリも耐性ができたりします。でも正しい知識は、一度身につけたら何十年も有効です。私たちも「知識のワクチン」を身につけて、インフルエンザの流行に備えたいものです。

プロフィール

東京大学医学部卒業。群馬県立精神医療センター勤務、東大精神神経科助手を経て、現在海上療養所に勤務。精神科医。

「香取グループホーム支援センター」開設

香取グループホーム支援センター 大宮俊介

今年の4月に佐原駅のそばに、香取グループホーム支援センターの事務所が開所しました。当センターは、香取障害者支援センターと同居しており、2事業所1事務所という形を取っています。職員は、障害者グループホーム等支援ワーカーの大宮と両センターの事務員の金杉が勤務しています。

主な業務は、障害

のある方のグループホームに関する相談を受けることです。グループホームって、何？という初歩的な相談から始まり、これからグループホームを利用したい方や実際に利用している方、その家族などから、相談を受けています。また、運営している事業所や世話人、これからグループホームを開設したい方からも相談はあります。相談内容は、グループホーム内のことはもちろん、近隣付き合いのことや利用者の入退居のことや就



労のこと、権利擁護に関する問題など多種多様です。

相談業務と同時に、定期訪問、設置者・世話人の集まりの主催、利用者交流会の開催、行政・社協・各障害者施設・障害者団体・特別支援学校と連携を図り、障害のある方が住みやすい環境になるような地域づくりにも力を入れています。

現在、香取圏域（香取市、東庄町、多古町、神崎町）には、15戸のグループホームや生活ホームがあり、これからもグループホームの数は増える予定ですが、追いつかないくらいグループホームの入居希望者が増えてきています。障害の重い方は施設へ、軽い方はグループホームへということではなく、障害のある方が、住む場所を自分で決め、サービスを選べるよう、この地域がなっていくことが望みです。

ぜひ、近くにお越しの際は、遊びにお立ち寄りください。

「つどいの家」開設

つどいの家 坂巻憲一

佐原聖家族園「つどいの家」は、9月1日から重症心身障害児(者)通園事業B型として事業を開始しました。

以前より北総地域に住む重症心身障害児(者)が、在宅から通える施設は旭市にある聖母通園センターだけしかなく、送迎時間が往復で2時間を超えてしまうことから、この地域をカバーする体制が必要でした。佐原聖家族園では平成15年度から通園事業B型の申請を毎年行っていました。

が、なかなか認可がおりず、その間は佐原聖家族園「通所部」として運営を続けてきました。苦勞したかいがあり、今回認可をいただき安堵しております。

開所式には利用者及びご家族をはじめ、香取市障害福祉課の八本様、佐原聖家族園嘱託医の越川先生、



大利根旭出福祉園の施設長中塚様等、関係者の方々にご参加いただきました。式ではたくさんの方に、お祝いの言葉をいただき、利用者、職員とも感謝の気持ちでいっぱいになりました。利用者のご紹介をしたり、ケーキとお茶を食べながら親睦を深めたり、とても和やかな式になりました。たくさんの方々に支援していただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、佐原聖家族園「つどいの家」では、9月より6名の方が利用されており、常勤職員1名、非常勤職員3名、非常勤看護師1名の合計11名で日々活動しています。活動内容は主に散歩や季節に合わせた行事、製作活動などを行っています。

また、8月中旬に改修工事を行い、建物内がとても広くなり、きれいになった室内は、利用者にも大好評で、今まで以上にいきいきと通園されています。今後、広くなったホールを利用して、いろいろな活動を考えていきたいと思えます。

障害者法定雇用率未達成企業支援事業

東総障害者就業・生活支援センター 辻内理章

目標は、利用者の方々の健康保持を第1に考えて支援していきま

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、企業(常用雇用労働者56人以上対象)は、常用雇用労働者の18%以上の障害者を雇用する義務があります。

重点的に企業の法定雇用率達成を支援します。

平成20年6月1日現在、県内企業の実雇用率は15.2%であり、全国平均15.9%を下回っています。また、法定雇用率を達成している企業の割合は47.7%であり、半数以上の企業(851社)が法定雇用率を達成していない状況にあります。

この「法定雇用率未達成支援員」を東総障害者就業・生活支援センターのひとりとして、一般企業を経験されてきた伊東幸雄氏に9月1日より、勤務していただいております。皆様、伊東さんを見かけた際には、気兼ねなく声をかけていただければと思います。

そこで、「法定雇用率達成支援員」を配置し、公共職業安定所等との連携により、法定雇用率を達成していない企業を対象に、障害者雇用に関する各種手続きの支援など、

ワークキャンプ実習記録より

聖心女子学院

久木 晴加さん

昨日よりも余裕をもって利用者さんと接する事ができました。もちろん少しとはいえまだ怖いと感じてしまうこともありましたが、今日は利用者の皆さんが本当に愛しく思った時がありました。この自分の心の変化に驚きました。利用者の皆さんは、本当に素直で純粹で、何より優しい人達でした。

利用者の方自身が、自分より小さく暴れやすい方の手を引いてあげていたり、脱いでしまった服を着せてあげていたりしているのを見て、本当に素敵な人達なのだなと思えました。この施設の良いところは、それぞれの利用者さんが自由に暮らしていることと、その中で皆さんの個性が生き生きとしてるところだと感じました。皆、それぞれ特徴があって、職員の方達がそれに合わせて会話しているのを見る等して、この施設にいる人達は全員とても楽しそうだと思

いました。昨日お話しした利用者さんが今日も続けて話に来て下さったり、初めてバスで隣に座った方が、降りた後もご自分の方から近寄って来て下さった時は本当に嬉しかったです。私自身も皆さんのおかげで本当に楽しいと感じる事ができた一日でした。

千葉県立旭農業高等学校

常世田 聖子さん

最初はどうか接していいか分からずとまどいしましたが施設の方々に色々教えて頂き接してみると笑顔で接してくれて凄く嬉しかったです。色々話しかけてみると表現で表してくれて嬉しそうな顔をしてくれてとっても嬉しかったです。話せなくても伝わるものもありました。施設の方のやさしい接し方や教えて頂いた事はとても勉強になりました。障害者と接する事は私にとって大きなげみになりました。

午前中話を聞いた時「障害は個性」だと言っていた事が本当にそ

うだと思えました。何も変わりのないみんな人間なんだという事がやっぱり大切な事だと思います。

ボランティアコーディネーターの方や施設の方本当にありがとうございました。

今までもたまにロザリオにはボランティアさせて頂いてますがまたぜひボランティアに参加したいと思います。一日いい体験をありがとうございました。

千葉県立匝瑳高等学校

広田 美優さん

聖家族園を最初に見たとき、ドアというドアのほとんどに、鍵がかかっていたので、少しとまどってしまいました。それに、突然名前を聞かれたり、話しかけてきたり、かべをたいたいたり驚くことばかりで、不安もありました。しかし、聖家族園のスタッフさん達が個性あふれる人達だったので、あなたがたかい雰囲気ですごいなと思う部分も結構ありました。入居している方々と散歩をするときに、徐々に素直だったりすることが見えてきたり、自分とか世間は、まだまだ偏見をもっているんだと、

敬愛大学八日市場高校

名雪 里香さん

ひしひしと感じました。スタッフさんの話しを色々聞かせていただいたのですが、私とは違うけれど、一緒なんだという...えーとー1+1=2じゃないことを教えてくれたのは、とても良かったです。普段できない体験が出来て、本当嬉しく思います。あとは、世界が広がりました。今までずっと小さいと思っていた世界が、普通の大きさになればいいなーっと思えました。ありがとうございました。

高校へ入学してから何度もボランティアへ参加することができ、たくさんの人々と接する中で考える事がたくさんあり、自分の考え方が広くなったと思います。日常では進路や人間関係など悩む事がたくさんあるけれど、毎回ボランティアにくる度に障害者の方々の優しさ、笑顔をもらい元気になる自分がいいます。

人の幸せを考えて生きる、素晴らしい事だと改めて実感しました。JRC部に入部して良かったと思います。人を支えられる職を目指します。

「生沼ハウス」開設

世話人 山中高子

9月1日から、新たにオープンした、定員女性3名の新しいグループホームです。

7月から、体験利用等を始め、段々と新しい暮らしに慣れていき、ようやく正式に9月にオープンできました。

立地条件としては、旭中央病院やジャスコ、旭駅等も歩いていける距離にあり、とても生活環境の良い所です。

今までのホームではいなかった10代の利用者も加わり、新たな暮らしをスタートされました。

まだまだ慣れていくまでは、時間がかかるとは思いますが、これから庭のガーデニング等いろいろな事にチャレンジしていきたいと思えます。

今後、いろいろなお世話になると思えますが、よろしくお願ひします。



ロザリオ合同防災訓練

みんなの家 所長 中津恵吉

「9月1日、午後1時30分大規模地震発生。その後、みんなの家

パニ班より出火し初期消火失敗。法人全体へ消火の応援要請と消防署へ通報。利用者・職員は指定の避難場所へ速やかに移動。」

皆さん、「これは訓練だけで実際には起こらないだろう。」と安心してしまいませんか？

しかし、地震は「いつ」「どこで」起こるかわかりません。記憶に新しいところでは、8月11日東海・伊豆地方で震度6の地震を観測し、

東名高速道路が陥没。鉄道や原子力発電所の緊急停止などが報道されました。地震大国日本、このような大規模地震が「今」起きてもお不思議ではありません。

ロザリオの聖母会では毎年9月1日に、法人全体の合同防災訓練を実施しています。旭消防署・野中地区長の参加を依頼し、地域と共に防災意識を高めるよう努力しています。今回の訓練においても、反省点・課題点など各施設ごとに話し合い、利用者・職員の安全管

理を徹底していきたいと思えます。

また、細瀬専務理事より「各施設の防災点検マニュアル実施の徹底」について講評がありました。日々点検することによって更に防災意識が高まるものと思えます。

ご協力いただいた旭消防署、伊藤区長さまありがとうございました。



新任者紹介

ソーシャルワーカー 井上 登紀子



散歩と岩盤浴が趣味の井上さんは実習に来た友の家が忘れられず、とうとう入職されたワーカー。明るく気さくな人柄とフレッシュな視点は友の家

に新風を送ってくれそうです。

「喫茶ひまわり」営業時間延長のお知らせ

「喫茶ひまわり」では、本年8月3日（月）より、月曜日から金曜日まで営業時間を18時まで延長して開店しております。

淹れ立てのコーヒーとケーキで、午後のひとときを「喫茶ひまわり」で過ごしてみませんか？

直通電話もありますので、ご予約等お待ちしております。

☎0479-60-0657

建て替え工事のお知らせ

海上療養所 院長 佐々木日出男

当院では外来棟の老朽化に伴い、一部建て替えを行っております。対象となる個所は「待合室、医局、薬局、事務室（受付会計窓口）」等です。

工事期間中は玄関前駐車場の仮設（プレハブ）の建物で業務を行います。建て替え工事予定期間は平成21年9月中旬から平成22年3月末までです。

工事終了までの間、ご不便をおかけ致しますが何卒よろしくお願いいたします。

寄付者御芳名

平成21年
6月17日
～
9月13日

山崎幸廣 平川一子 加瀬雄一 若井勝次 黒田信一 (株)岡橋進一 高橋万知子 石毛弘作 篠塚よし子 香西勝 伊藤信勝 (有)ケンシンデバイツ 小川ひさこ 田本明 伊藤満美 諸持勝 姫沼宏昌 豊田雅美 藤本光雄 落合福蔵 久保章二 根本智正 越石浩樹 中村復子 鎗田律子 堀越繁喜 林田信司 栗田菊五郎 君塚英記 高橋幸雄 長田幸雄 太田恭子 橋本利子 宮本五郎 香取實

林紀夫 林晴通 江波光枝 江波建設(株) 鷺沢昭一 伊藤テルエ 高田えい (株)ヴェリック (株)井筒屋洋品店 畔蒜良平 佐賀あき 伊藤猛 高橋圭子 西山利文 平野平子 梅室知子 片山肉店 片山肉店 車椅子レクダンス普及会 加瀬佑子 大木正明 成毛茂 山越信 市東紀博 遠藤義勇 常世田 太田義人 遠藤しん子 飯田正直 鈴木積平 滝口昭彦 竹下丈和 高橋克己 大野柳三 伊藤武夫 谷口英子 村山安孝 (有)伊藤養豚 代表取締役 伊藤和子 行政書士 平山美智子 山口栄子 阿部建設(株) 倉田セツ (有)寿自動車 (有)伊万里 山口利兼 (有)崎山土木 山崎ミナ 吉田邦次 高木鮮魚店 高木陸郎 林ミオ子 竹蓋伸六 小林幾代 下根屋 石井禎子 小倉義一 佐々木日出男 東日本電話(株) 宮崎正志 金田みつ子 山本勝子 山田ミチ子 穂田雅巳 大畑幸子 舟見雅夫 高野昭三 小島昭吉 伊藤房三 芳野積善 渡辺和子 五十嵐利行 石毛満江 大関喜次 竹内栄次 土肥成市 中西公成 芳賀信雄 小曳馨 越川栄

越川栄 田中信子 ◆ ◆ ◆ カトリック本所教会 酒井俊雄神父 不二聖心女子学院 ナドー 佐々木日出男 聖心会ヴィラ不二 大久保二郎 田中長子 大山清子 聖心会修道院 風間誠 宇奈加美三千年ノ館資料館 町田治子 聖心会かしの家 聖心会裾野修道院 糸川澄子 桑原闌子 日本原子力発電関連企業 労働組合総連合会 武井茂子 石川暁子 田代写真館 木村やすよ (敬称略)

Photo Gallery



▲佐原聖家族園第1回夕涼み会
「たくさん屋台のご馳走食べたよ。ちよっぴり休憩」



▲聖家族園夏祭り
「浴衣、似合ってますか？」



▲聖マリア園納涼祭
「チーバ君とのふれあい」



▲聖家族作業所・ボーリングクラブ
「目指せストライク！」

行事予定

- 21.10. 1~31 上半期人事考課月間
 - 16 法人運営会議、経営会議
 - 28 地域生活支援会議
- 11. 4 対策本部会議、総合安全対策委員会
 - 10~12 非常勤職員研修会
 - 13 経営会議、クリーンデー
 - 20 法人運営会議、経営会議
 - 24 印旛健康福祉センター監査
 - 25 地域生活支援会議
 - 27 理事会、評議員会
- 12. 2 障害者週間行事(ロザリオ福祉作文コンクール表彰式・ボランティア感謝式・講演会)
 - 4 経営会議
 - 9 対策本部会議、総合安全対策委員会
 - 11 経営会議、クリーンデー
 - 18 法人運営会議、経営会議
 - 25 クリスマス休日
 - 30~1/3 年末年始休暇
- 22. 1. 4 新年あいさつ会
 - 6 対策本部会議、総合安全対策委員会
 - 8 経営会議
 - 15 経営会議、クリーンデー
 - 22 法人運営会議、経営会議
 - 29 理事会

施設は人なり

言われてきて久しい。今ならさしずめ「福祉は人なり」というべきところであろう。施設が福祉の代名詞であった時代から、大きく社会は変わったからである。

しかし、時代が変わり社会が変わっても「人」の重要性は変わらない。

このところ福祉を取り巻く環境の変化が激しい。ひとつの考え方で少なくとも5年はやらせてほしいものである。実際、制度がよくなるにこしたことはないが、今の福祉の世界に本当に必要なのは、

専用メールアドレスのお知らせ

ご意見、ご感想のある方は下記のアドレスまでお願いします。

koho@rosario.jp

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設行事のために常時ボランティアを必要としています。

関心のある方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

編集後記

▼「マスク・うがい薬・消毒液」と、備えあれば憂いなし！皆さん！新型インフルエンザ対策は万全ですか？

(す)

精神科・内科(医療保護施設)

海上療養所

ワークセンター

友の会

重慶心身障害児施設

聖母通園センター

重慶心身障害児通園施設

ふたば保育園

身体障害者療護施設

聖マリア

生活介護事業所

知的障害者更生施設

聖マリアデイサービスセンター

知的障害者通所授産施設

聖家族

障害者就業・生活支援センター

生活介護事業所

東総障害者就業・生活支援センター

高齢者支援事業所

聖家族作業所

ロザリオ高齢者支援センター

ロザリオ訪問介護事業所

精神科・内科(医療保護施設)

海上療養所

ワークセンター

友の会

重慶心身障害児施設

聖母通園センター

重慶心身障害児通園施設

ふたば保育園

身体障害者療護施設

聖マリア

生活介護事業所

知的障害者更生施設

聖マリアデイサービスセンター

知的障害者通所授産施設

聖家族

障害者就業・生活支援センター

生活介護事業所

東総障害者就業・生活支援センター

高齢者支援事業所

聖家族作業所

ロザリオ高齢者支援センター

ロザリオ訪問介護事業所

これは精神障害者通所授産施設ワークセンターで印刷しました。